

オアシス

令和7年7月号

江戸川区立大杉小学校 ことばの教室

校長 藤田 暁美

電話・FAX 03-3653-7784

梅雨はまだ続っていますが、少しずつ暑くなる日々が夏の訪れを感じさせてくれます。

あと少しで、待ちに待った夏休みがやってきます。大人も子供も気持ちが高まる一方、この時期は体力や食欲が落ちたり、睡眠時間も不十分であったりして、夏バテしやすい時期でもあります。生活のリズムに気を付けながら、元気に過ごしていきましょう。

今後の予定

- 7月 2日(水) 吃音講演会(14:30~16:30)【午後の通級なし】
講師:生涯発達支援オフィス ことばラボ 代表 古山 慎治 先生
- 7月 9日(水) 吃音グループ活動(15:00~16:30)【午後の通級なし】
- 7月18日(金) 1学期指導終了
- 7月23日(火) 夏季相談会
~ 25日(金)
- 9月 1日(月) 保護者面談
~ 5日(金)
- 9月 8日(月) 2学期指導開始
- 9月24日(水) 吃音グループ活動【午後の指導なし】

検査・相談は、毎週月曜日10時40分から行っています



保護者面談のお知らせ

9月1日(月)~ 5日(金)の期間にて、保護者面談を行います。お子様の成長の様子や、来年度の通級に向けてのお話をしたいと考えております。個別の日時については担当とご相談ください。

ご協力の程よろしく申し上げます。



「構音障害」のある児童への対応について

「発音がはっきりしない」「サ行がうまく言えない」など、発音に関する問題は、言葉の音の問題として取り上げられます。これらは一般的に「構音障害」と呼ばれ、発音を習慣的に誤っている状態のことを言います。ここでは、発音に課題のある子供への接し方についてご紹介いたします。

■配慮をする上の基本的な考え方■

発音の誤りのある子供は、相手に話の内容が分かってもらえないことが多く、すすんで話そうとする意欲が育ちにくい状況にあります。子供の発音だけに頼るのではなく、「何を話したいか」に注目し、やりとりを継続することが大切です。



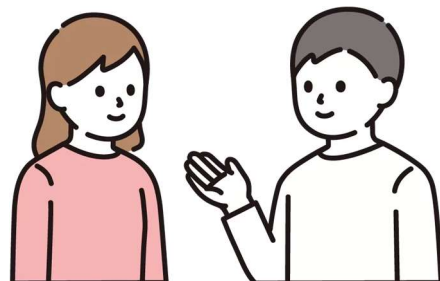
学級や家庭で行える具体的な支援・手立て

1 話の内容に耳を傾ける

子供の発音そのものよりも、話の内容をよく聞き、答えてあげてください。「相手に通じた」という経験は、『話すことが好き』『もっと話したい』という気持ちを育てます。

2 ごく自然に対応する

子供が「ウタギがね」のように間違った発音をした場合には、「ウサギがいたのよね」のように、正しい発音で返してあげてください。子供は自然に正しい音を聞くことができます。



3 聞き返しはOK

正しく発音できない音があると、話を聞いている側が一度で内容をくみ取ることが難しい場合があります。正しい発音になるように何度も言い直しをさせることは子供にとって大きな負担ですが、話している内容を知りたいために、もう一度繰り返してもらうことは負担にならないことが多いようです。発音よりも内容をくみ取ってあげてください。

4 周りからからかいにあったときは

他のからかいと同様の対応をしてあげてください。もし通級している子供であれば、「言いにくい言葉があるから、発音の練習を頑張っている」ことも話してあげてください。